

高1の皆さん、こんにちは。
第5回目の課題は授業予習プリント2単
元目になります。
今単元では、『国内の内乱～江戸幕府の
滅亡』までを取り上げています。教科書
のP26の5行目～P32の8行目までを
読んで空欄を埋めてください。
ここまでのプリントでやってきた内容
は、予習の意味でやってもらったもので
すので、全員が揃って登校できるようにな
った時には、解説を加えながらもう1
度授業でやりますので安心してくださ
い。

[公武合体と尊攘運動]

A. 公武合体論 — 幕府再建のために尊王思想を利用して朝廷との協力体制を維持する方針を採る（老中： 補佐： ）。

ア（ 内親王）降嫁 — 1862. 2. 有栖川宮熾仁親王との婚約が決まっていたが、徳川家茂と婚姻が決定される。

イ（ ） 1862年

和宮降嫁に憤激した尊攘派水戸脱藩士らが安藤信正を坂下門外で暗殺する。

→公武合体論は後退する。

B. 文久の改革 1862年

ア. 改革の契機 — 旧薩摩藩主（ ）が上洛して幕政改革について上奏。孝明天皇より勅使（ ）を付されて江戸に入府し、改革案を提示する。

イ. 改革

①参勤交代の緩和 — 3年1度。妻子人質制の廃止。

②徳川慶喜が（ ）に就任。

③（ ）を設置 — 松平慶永が就任。

④松平容保が（ ）（配下に新選組）に就任。

⑤西洋式軍制の採用

C. 尊王攘夷運動の展開

ア. 長州藩 — （ ）を動かして攘夷決行について幕府に勅使を派遣させる。徳川家茂は上洛して1863. 5. 10に攘夷決行するよう上奏(1863. 3. 14)。

イ. 長州藩下関外国船砲撃事件 1863. 5.

3月の攘夷決行の趣旨にしたがって外国船を砲撃する。

ウ. 八月十八日の政変 1863. 8. 18

①薩摩・土佐藩（公武合体派）は、朝廷内部の公武合体派と連携して（ ）ら急進派公卿を朝廷より追放する（七卿都落ち）。

②長州藩は御所の警備を解任される。

→京都に朝廷・幕府・雄藩の連絡機関として（ ）が設置される。

エ（ ） 1864. 7.

蛤御門の変とも言う。池田屋事件を契機に長州藩の急進派が薩摩・会津・桑名藩兵と蛤御門付近で戦闘するが敗走。

オ. 第1次長州征討 1864. 8-12

幕府は、蛤御門の変の責任を追求する目的から出兵する。長州藩は屈伏し、藩内では保守派が台頭する。

D. 薩摩藩・長州藩と列強

ア（ ） 1863. 7.

英国は前年の（ 事件）の賠償を幕府を通じて薩摩藩に求めるが、これに応じないため鹿児島を砲撃して屈伏させる。この後、薩摩と英国とが接近する。

イ（ 事件） 1864. 7.

長州藩の外国船砲撃に対する報復として英公使（ ）が主唱し、米英蘭
仏軍艦が下関を砲撃。停戦協定を結んだ後、英・長が接近する。

E. 幕府と列強

ア（ ） 1866年

列強は圧力により通商条約の勅許を獲得するが、兵庫港の開港が除かれたため、関
税を一律に5%に引き下げることが約束させる。

イ. イギリスとフランス

①イギリス — 幕府の弱体化を見抜き、雄藩連合を構想する。

オールコック → パークス

②フランス — 幕府の財政面・軍事面について援助する。

〔討幕運動の展開〕

[日本史No.13]

A. 長州藩内部 — （ ）（ ）らが**奇兵隊**を率いて下関で挙兵し
(1864)、藩政の実権を握り、藩論は(幕府に)恭順から討幕へと変更。

【長州藩の革新派主要メンバー】

①（ ） — 1839-67、松下村塾に学び、尊攘運動に参加。1862年の英公
使館焼打事件にも参加。下関砲撃に際して、身分を問わない
有志により奇兵隊を組織する。下関砲撃事件講和に際しては
正使となる。のち保守台頭により脱藩し奇兵隊を率い下関挙
兵。藩の主導権を握る。

②（ ） — 1833-77、松下村塾に学び、のち**木戸孝允**と改名。尊攘・討幕
運動の指導的役割を果たす。

③（ ） — 1835-1915、幕末の尊攘運動に参加、1863年伊藤博文らと英
国留学するが、下関砲撃事件の報により帰国し、講和に努力。

④（ ） — 1825-69、大坂に出て、緒方洪庵に蘭学を学び、郷里で開
業するが失敗し、洋学の知識を認められ、宇和島藩に仕
える。のち幕府の蕃書調所教授手伝・講武所教授等を歴
任。のち長州藩に仕え、慶応期の軍制改革に力量発揮す
る。

B（ ） 1866. 1.

土佐藩（ ）（ ）の斡旋で実現。

長州藩（ ）(のちの木戸孝允)

薩摩藩（ ）（ ）

C. **第2次長州征討** 1866. 4.

幕府が、領地削減を命じるが長州藩は無視する。幕府は、長州征伐を宣言するが、
諸藩は厭戦ムード。幕府は各地で敗退し、上洛中の徳川家茂が死去したのを機に撤
退する。

D. 幕末の世相

ア. 世直し — 開国にによる経済の混乱、政争、尊王思想の普及により為政者に対する不

満が顕著になり、世直し一揆・打ちこわしが発生した。

- イ. **教派神道** — 明治時代に公認された神社神道のこと。天理教(中山みき)・黒住教(黒住宗忠)・金光教(川手文治郎)。
- ウ. **お蔭参り** — 多数の民衆による伊勢神宮への爆発的な参詣。
- エ. **ええじゃないか** — 「お蔭参り」の変形で、「ええじゃないか」と連呼し乱舞する。(討幕派は、この狂乱裏に活動を進める。)

[幕府の滅亡]

A. 大政奉還

ア. 朝廷の動き

孝明天皇崩御→明治天皇即位(討幕が王政復古をめざす)

イ. 幕府と薩摩藩の対立

- ①幕府 — 兵庫港の開港を先決問題とする。
- ②薩摩 — 長州藩の処分軽減を先決問題とする。
- ③盟約 — 薩摩・長州・安芸藩が討幕のため結集
- ④ ()

ウ () 1867年

公武合体派の土佐藩では () () らが、前土佐藩主 () を動かして15代将軍 () に大政返上を建白する。
→徳川慶喜は大政奉還を上表。

B. 王政復古の大号令 1867.12.

薩摩・長州・安芸藩は土佐藩を抱き込み、政変を決行する。

- ①摂政関白の廃絶、三職 () の設置。

→総裁：有栖川熾仁親王

議定：宮2人、公卿3人、大名(尾張・越前・安芸・土佐・薩摩)

参与：大原重徳・岩倉具視ら5公卿、尾張・越前・安芸・薩摩・長州から3名)

- ②神武創業の精神に基づく王政復古

C. 小御所会議

1867.12.9. 最初の三職会議。徳川慶喜に辞官・納地を要求。

→旧幕府系の不満から徳川慶喜は大坂へ引き上げ、戊辰戦争へ発展。

高1 世界史A 休校中の課題⑤

こんにちは、杉田です。先週は暑い日が続きましたね。私はついコンビニでアイスを買ってしまいました…。食べ過ぎには気を付けようと思います！

まだまだ暑かったり涼しかったりと気温の変化が大きいので、みなさんも体調を崩さないように気を付けてください。

さて、今週の課題です。

①「5 南北アメリカ・アフリカ」のページの「⑤アフリカの地名」の、A～Lの現在の国名と場所を覚える。

※地図を描く課題は今回もなし！今までの3回分を、しっかり描けるようにしよう！

② この後のプリント2枚の空欄に、当てはまる語句を記入する。

- ・プリントの四角で囲まれている部分は、教科書 p.152～153 の中に答えが必ずあります。
- ・四角で囲まれていない、「Notes」の部分は、教科書の別のページ(その場合は指示があります)に載っていたり、辞書やインターネット等で調べなければわからないところがあります。がんばりましょう！
- ・解答は、プリントに直接書き込んでも、ルーズリーフやレポート用紙など別の紙に記入しても構いません(ノートなど冊子状のものはNGです)。
別の紙に書くときは、空欄の番号がわかるようにして下さい。
どちらの場合も、クラス・番号・氏名を必ず記入しましょう。

質問は、杉田まで！電話でお問い合わせください。

≪帝国主義の成立≫

19C末ごろ～ 欧米諸国は帝国主義をとるようになる

(1)背景 [1]を経て工業生産力と資本を得たこと

(2)[2]主義とは

=この時期の欧米諸国が行った、侵略的で[3]統治を伴う新しい領土拡張主義

・[3]は何のために必要だったのか

…[4] (作ったものを売るところ)

[5]の場 (稼いだお金を注ぎ込んでさらなる利益を生むところ)

[6]の場 (原材料を手に入れるところ) として必要だった

・植民地統治の仕方

…住民の意向を無視して、政治的・軍事的に強く支配された地域が多い

∴(なぜならば)資本の安全、資源・市場の確保のため

≪侵略の過程≫

(1) 東アジアにて

①、中国…列強による分割が19C末より本格化 (きっかけ: 中国(清)が[7]戦争で敗戦)

・[8]…日清戦争後、日本が獲得

・[9]半島…[10]戦争(1904～05)後、日本が租借

②樺太 …日露戦争後、日本が南樺太を獲得

③、韓国 …[11]年に日本が併合

(2) 太平洋の島々にて

①[12]島 …1898年に、アメリカが[13]戦争に勝利して併合
(この時、同時に[14]も併合した)

②[15] …18C後半～ カメハメハ朝が支配

19C半ば～ [16]栽培と製糖業がさかん

1898年 アメリカが併合

Notes:

a) 列強による中国分割 →教 p.144 の地図

①租借地の増加 …租借地=条約によって国が借りた、他国の領土の一部。事実上の領土割譲。

・1898 ドイツが宣教師殺害事件を口実に、[17]湾を租借

→[露] [18]半島南部/[英]威海衛・九竜半島/[仏] [19]湾をそれぞれ租借

②勢力範囲…清に利権の優先権を認めさせている地域 ([色]は教 p.144 地図の色)

国	勢力範囲	国	勢力範囲
[紫]20	東北地方	[緑]24	広東西部、広西地方
[青]21	山東地方	[赤]日本	福建地方(台湾の対岸)
[桃]22	[23]流域、広東東部		

…出遅れた国は、[25]!

→1899,1900 米国务長官[26]による門戸開放宣言

…列強諸国に、中国の門戸開放、機会均等、領土保全を提唱

→列強の進出が一時ゆるむ

b) 日本による韓国併合 →教 p.145

1904 第1次[27]

・日露戦争(1904~05)中に成立

・韓国の外交と財政に、日本政府の役人を顧問としておくことを強制

1905 米英とやりとり →両国から、日本による韓国の保護国化を承認される

1905 第2次[27]

・韓国の自主外交権を日本が得る

・漢城(現 28)に[29]を設置 (初代統監:[30])

1907 ハーグ密使事件

・韓国の高宗が、第2回万国平和会議(オランダの[31]で開催)に密使を派遣し、第2次日韓協約の無効・日本のふるまいの不当性を訴えた

→列強諸国は訴えを無視。日本は高宗を退位させ、支配を強めた。

1907 第3次[27]

・韓国政府のすべてが、統監の指導を受けることになる ・韓国軍は解散

→韓国:[32]の本格化

1909 [30]が、[33]に暗殺される …ハルビン駅頭にて

1910 日本が[34]を強行

・韓国併合に関する条約(日韓併合条約)による

・[35]の設置

…軍事・行政のすべてを統括する天皇直属の朝鮮統治機関

京城(漢城を改称、現ソウル)に設置 (初代総督:[36])